

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株主
信託期間	2007年11月30日から2027年11月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてアジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
主要運用対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」および親投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券、短期社債等、コマーシャルペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	第3期決算以降、毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。 ・留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

スパークス・アジア中東株式ファンド (隔月分配型)

運用報告書(全体版)

第73期(決算日 2020年 1月10日)

第74期(決算日 2020年 3月10日)

第75期(決算日 2020年 5月11日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、『スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)』は、このたび、第75期の決算を行いました。
ここに第73期から第75期の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
第21作成期	61期(2018年 1月10日)	円 10,580	円 45	% 2.4	1,363.5	% 4.3	% 0.3	% 96.6	百万円 3,035
	62期(2018年 3月12日)	9,962	45	△ 5.4	1,281.4	△ 6.0	0.4	96.3	2,809
	63期(2018年 5月10日)	9,771	45	△ 1.5	1,281.6	0.0	0.4	96.3	2,704
第22作成期	64期(2018年 7月10日)	9,455	45	△ 2.8	1,250.7	△ 2.4	0.4	98.5	2,555
	65期(2018年 9月10日)	9,044	45	△ 3.9	1,207.0	△ 3.5	0.4	97.1	2,402
	66期(2018年11月12日)	8,630	45	△ 4.1	1,162.3	△ 3.7	0.4	96.9	2,265
第23作成期	67期(2019年 1月10日)	8,439	45	△ 1.7	1,118.0	△ 3.8	0.5	96.7	2,193
	68期(2019年 3月11日)	8,931	45	6.4	1,216.8	8.8	0.4	97.5	2,276
	69期(2019年 5月10日)	8,829	45	△ 0.6	1,205.3	△ 0.9	0.5	97.4	2,197
第24作成期	70期(2019年 7月10日)	8,952	45	1.9	1,220.1	1.2	0.5	98.6	2,168
	71期(2019年 9月10日)	8,601	45	△ 3.4	1,182.6	△ 3.1	0.5	96.5	2,067
	72期(2019年11月11日)	9,038	45	5.6	1,269.8	7.4	0.5	96.7	2,144
第25作成期	73期(2020年 1月10日)	9,317	45	3.6	1,342.9	5.8	0.5	97.4	2,167
	74期(2020年 3月10日)	7,490	45	△ 19.1	1,095.5	△ 18.4	0.6	96.6	1,698
	75期(2020年 5月11日)	7,529	45	1.1	1,103.4	0.7	0.6	97.6	1,686

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

< 当ファンドの参考指数について >

当ファンドの参考指数である MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除くアジア太平洋地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ 当作成期間中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index (参考指数)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	
	円	騰 落 率		騰 落 率			
第73期	(期 首) 2019年11月11日	9,038	% —	1,269.8	% —	% 0.5	% 96.7
	11月末	8,994	△ 0.5	1,265.3	△ 0.4	0.5	97.4
	12月末	9,324	3.2	1,323.3	4.2	0.5	97.4
	(期 末) 2020年 1月10日	9,362	3.6	1,342.9	5.8	0.5	97.4
第74期	(期 首) 2020年 1月10日	9,317	—	1,342.9	—	0.5	97.4
	1月末	8,764	△ 5.9	1,271.9	△ 5.3	0.5	97.9
	2月末	8,588	△ 7.8	1,259.9	△ 6.2	0.5	97.0
	(期 末) 2020年 3月10日	7,535	△ 19.1	1,095.5	△ 18.4	0.6	96.6
第75期	(期 首) 2020年 3月10日	7,490	—	1,095.5	—	0.6	96.6
	3月末	7,016	△ 6.3	1,020.4	△ 6.9	0.6	97.3
	4月末	7,616	1.7	1,108.8	1.2	0.6	97.0
	(期 末) 2020年 5月11日	7,574	1.1	1,103.4	0.7	0.6	97.6

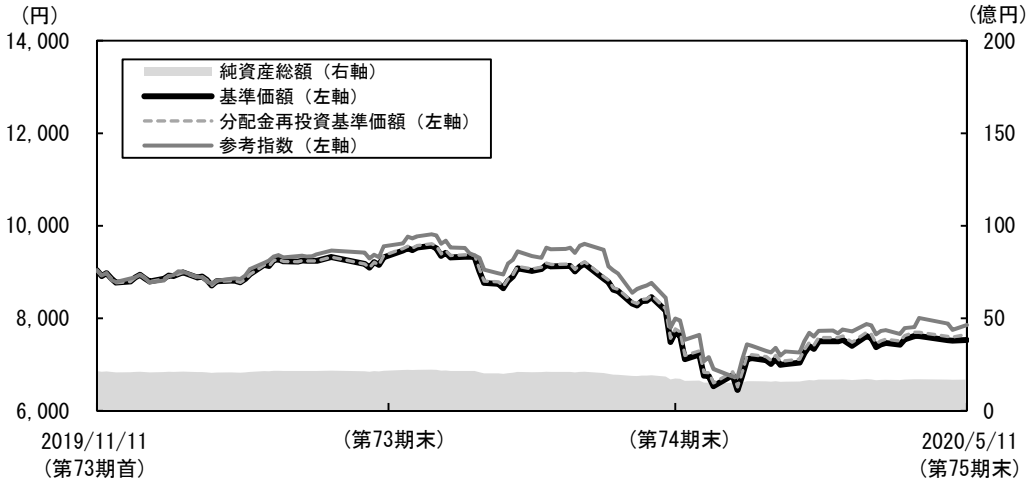
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2019年11月12日～2020年5月11日)

基準価額は期首に比べ△15.3%(分配金再投資ベース)の下落となりました。



第73期首 : 9,038円

第75期末 : 7,529円(既払分配金135円)

騰落率 : △15.3%(分配金再投資ベース)

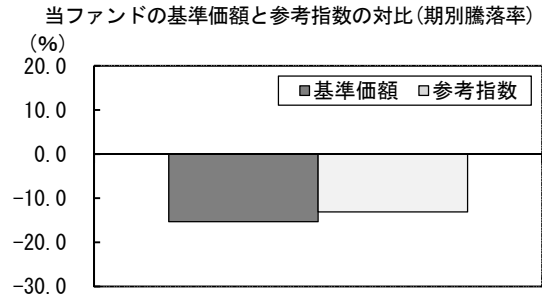
- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。
- ※ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- ※ 参考指数は期首(2019年11月11日)の基準価額に合わせて指数化しております。

2) 基準価額の主な変動要因

アジアと中東の多くの市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。特に、保有残高が多かった香港市場の下落が、基準価額の下落の大きな要因となりました。また、オーストラリアドルが円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

3)ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。



第25作成期
(2019/11/12 ~ 2020/5/11)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

(アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式)

期首から2020年1月中頃までは、米中両国は貿易協定の「第一段階」で合意に達したことや、中国人民銀行(中央銀行)が、金融機関から預金の一定割合を強制的に預かる預金準備率を引き下げたことなどから、アジアの市場は上昇しました。しかし、新型コロナウイルス感染症が中国のみならず国外にまで拡大し、特に3月以降はとりわけ欧州と米国で驚異的な速度で拡大しました。前例のないロックダウン(都市封鎖)とソーシャルディスタンス(社会的距離の確保)施策の実施により、経済活動は深刻な打撃を被りました。生産活動や事業活動が急速に停滞し、消費も落ち込みました。世界の株式市場と同様、アジア株式市場も数十年に一度の急落となりました。さらに、OPEC(石油輸出国機構)とロシアが原油の減産に合意せず、価格競争となったため、原油価格は3月だけで50%超下落しました。

しかし4月になると、新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化傾向が見られたこと、世界各国の政府と中央銀行が大規模な財政政策および金融緩和政策に踏み切ったことなどから、株式市場に多少の安心感がもたらされ、一転し大幅に上昇しました。

(国内債券・短期金融市場)

2016年2月より「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入したため、国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなりました。

■ ポートフォリオ

< スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) >

「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行うことを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行ないました。

< SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資しました。

(主なプラス要因)

中国の大手インターネット企業であるTencent Holdings(中国/コミュニケーション)は、中国経済の減速を尻目に広告収入が好調に推移したため上昇しました。新型コロナウイルス感染症による危機は、オンライン医療やオンライン教育の普及が加速するきっかけとなるかもしれません。Tencentが運営する「WeChat」などのようなオンラインプラットフォームの多くが「オンライン診療サービス」を提供しているため、「新型コロナウイルス感染を恐れ病院に行きたくない人」などが在宅診療を受けることが出来ます。また、中国全土で学校が閉鎖されていましたが、一部の学生は「オンライン授業」によって学習を継続しています。こうした「新しいトレンド」によって、新たな投資機会が生まれる可能性があります。

(主なマイナス要因)

Sydney Airport(オーストラリア/資本財)、Travelsky Technology(中国/情報技術。航空券予約システム運営会社)、Transurban Group(オーストラリア/資本財。オーストラリア最大の有料道路運営会社)は、ロックダウンによって空路と道路の交通量が激減したため、売上高の落ち込みが甚大で、短期的な配当への悪影響が予想されたため下落しました。しかしロックダウンが解除されれば、空路も道路も交通量が急速に回復するはずで、財務体質が強固であること、市場をほぼ独占していること、政府からの支援があることを踏まえると、長期的なキャッシュフローや配当生成能力は依然として損なわれていないと、当ファンドは考えています。

Aristocrat Leisure(オーストラリア/一般消費財)は、収入の約60%がスロットマシンの販売収入で、顧客である世界のカジノ運営企業のほとんどは、3月中旬から営業を休止しており、同社が受け取る日額手数料は激減したため下落しました。しかし幸いなことに、同社は数年前からソーシャルカジノ、ソーシャルカジュアルゲームといった「デジタルセグメント」への多角化を進めており、この戦略が実を結ぼうとしています。

< スパークス・マネー・マザーファンド >

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間につきましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

< スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) >

引き続き、「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。

< SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

引き続き、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

< スパークス・マネー・マザーファンド >

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当ファンドは、隔月(奇数月、原則10日)に安定的な分配を行うことを目指しております。第73期、第74期、第75期における分配金は、それぞれ1万口当たり45円(税込み)とさせていただきます。なお、留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項 目	第73期 (2019年11月12日～ 2020年 1月10日)	第74期 (2020年1月11日～ 2020年3月10日)	第75期 (2020年3月11日～ 2020年5月11日)
当期分配金 (対基準価額比率)	45 (0.48 %)	45 (0.60 %)	45 (0.59 %)
当期の収益	45	45	45
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,148	2,151	2,162

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第73期～第75期 2019年11月12日～2020年5月11日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	40円	0.477%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.095)	・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.358)	・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.024)	・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.048	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(2)	(0.024)	・ファンドの監査法人等に対する報酬および費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.024)	・法定書類等の作成、印刷費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合 計	44	0.525	
作成期中の平均基準価額は8,384円です。			

(注1) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

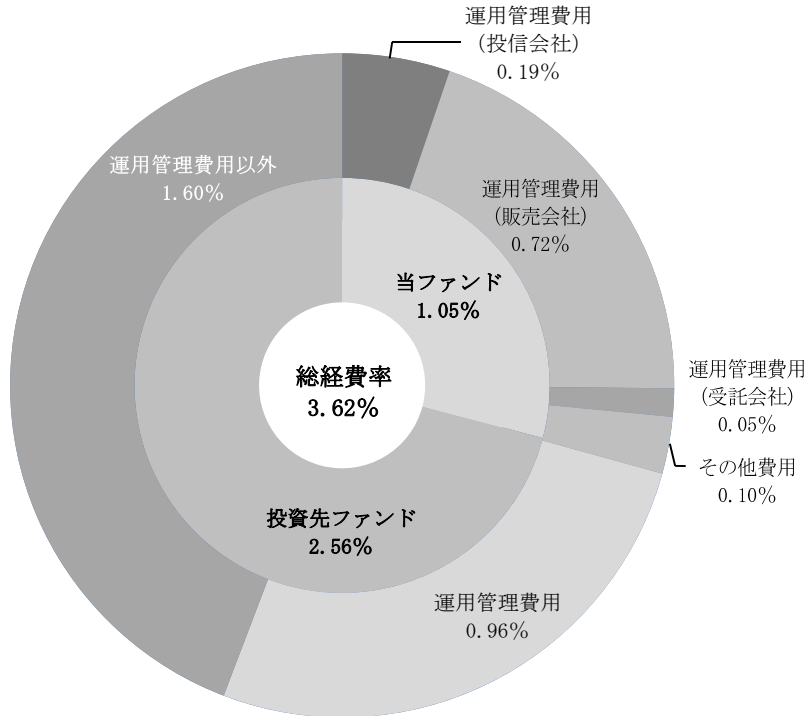
(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。(親投資信託を除く)

(参考情報)

○ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.62%です。



総経費率 (①+②+③)	3.62%
①当ファンドの費用の比率	1.05%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.96%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.60%

- (注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
 (注) 各比率は、年率換算した値です。
 (注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
 (注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
 (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 売買および取引の状況 (2019年11月12日から2020年5月11日まで)

投資証券

銘柄名	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 —	千円 —	千口 9	千円 80,652

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 主要な売買銘柄 (2019年11月12日から2020年5月11日まで)

投資証券

買付			売付		
銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額
—	千口 —	千円 —	SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 9	千円 80,652

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年11月12日から2020年5月11日まで)

(1) 当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種類	当 作 成 期		
	買付額	売付額	当作成期末保有額
投資証券	百万円 —	百万円 80	百万円 1,646

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

(注3) 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」は弊社の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2019年11月12日から2020年5月11日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2019年11月12日から2020年5月11日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2020年5月11日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第24作成期末	第25作成期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド		230	221	1,646,178	97.6
合計	口数・金額	230	221	1,646,178	—
	銘柄数<比率>	—	—	1銘柄	<97.6%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第24作成期末	第25作成期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
スパークス・マネー・マザーファンド	9,964	9,964	10,213

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当該マザーファンドの当作成期末の受益権総口数は、9,994千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2020年5月11日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2020年5月11日現在)

項目	第25作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	1,646,178	96.8
スパークス・マネー・マザーファンド	10,213	0.6
コール・ローン等、その他	43,378	2.6
投資信託財産総額	1,699,769	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第73期末 2020年1月10日	第74期末 2020年3月10日	第75期末 2020年5月11日
(A) 資 産	2,182,159,353 円	1,714,595,455 円	1,699,769,944 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	61,711,391	64,252,374	43,377,999
スパークス・マネー・マザーファンド(評価額)	10,201,484	10,369,881	10,213,441
投 資 証 券(評価額)	2,110,246,478	1,639,973,200	1,646,178,504
(B) 負 債	14,611,645	16,288,874	12,957,988
未 払 収 益 分 配 金	10,468,956	10,203,922	10,082,008
未 払 解 約 金	537,850	2,561,435	299
未 払 信 託 報 酬	3,267,282	3,208,986	2,612,572
未 払 利 息	169	176	118
そ の 他 未 払 費 用	337,388	314,355	262,991
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	2,167,547,708	1,698,306,581	1,686,811,956
元 本	2,326,434,739	2,267,538,270	2,240,446,307
次 期 繰 越 損 益 金	△ 158,887,031	△ 569,231,689	△ 553,634,351
(D) 受 益 権 総 口 数	2,326,434,739 口	2,267,538,270 口	2,240,446,307 口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	9,317 円	7,490 円	7,529 円

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 作成期首元本額	2,372,446,383 円
作成期中追加設定元本額	24,687,550 円
作成期中一部解約元本額	156,687,626 円

■ 損益の状況

項 目	第 73 期		第 74 期		第 75 期	
	自 2019 年 11 月 12 日 至 2020 年 1 月 10 日		自 2020 年 1 月 11 日 至 2020 年 3 月 10 日		自 2020 年 3 月 11 日 至 2020 年 5 月 11 日	
(A) 配 当 等 收 益	14,783,637 円		14,372,554 円		14,399,611 円	
受 取 配 当 金	14,792,240		14,380,441		14,405,168	
支 払 利 息	△ 8,603		△ 7,887		△ 5,557	
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	64,146,470		△ 414,972,909		7,385,668	
売 買 益	64,561,703		2,365,246		7,621,374	
売 買 損	△ 415,233		△ 417,338,155		△ 235,706	
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,604,838		△ 3,523,341		△ 2,876,364	
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	75,325,269		△ 404,123,696		18,908,915	
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 76,518,542		△ 11,330,431		△ 418,807,502	
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 147,224,802		△ 143,573,640		△ 143,653,756	
(配 当 等 相 当 額)	(43,830,626)		(44,151,064)		(45,463,823)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 191,055,428)		(△ 187,724,704)		(△ 189,117,579)	
(G) 合 計 (D+E+F)	△ 148,418,075		△ 559,027,767		△ 543,552,343	
(H) 收 益 分 配 金	△ 10,468,956		△ 10,203,922		△ 10,082,008	
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 158,887,031		△ 569,231,689		△ 553,634,351	
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 147,224,802		△ 143,573,640		△ 143,653,756	
(配 当 等 相 当 額)	(43,830,626)		(44,151,064)		(45,463,823)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 191,055,428)		(△ 187,724,704)		(△ 189,117,579)	
分 配 準 備 積 立 金	456,109,154		443,777,877		439,052,030	
繰 越 損 益 金	△ 467,771,383		△ 869,435,926		△ 849,032,625	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

項 目		第 73 期	第 74 期	第 75 期
費用控除後の配当等収益額	A	14,108,451円	10,849,213円	12,498,334円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	－円	－円	－円
収益調整金額	C	43,830,626円	44,151,064円	45,463,823円
分配準備積立金額	D	452,469,659円	443,132,586円	436,635,704円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	510,408,736円	498,132,863円	494,597,861円
当ファンドの期末残存口数	F	2,326,434,739口	2,267,538,270口	2,240,446,307口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G	2,193.95円	2,196.80円	2,207.58円
1万口当たり分配金額	H	45円	45円	45円
収益分配金金額 (I=F×H/10,000)	I	10,468,956円	10,203,922円	10,082,008円

■ 分配金のお知らせ

	1万口当たり分配金(税込み)
第73期	45円
第74期	45円
第75期	45円

- ◇ 分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払を開始しております。
- ◇ 分配金を再投資される方のお手取分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇ 課税上の取り扱い
 - ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
 - ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※ 詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めします。
 なお、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

■ お知らせ

該当事項はありません。

ご参考として以下に、スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型）が組入れている各投資対象ファンドの運用内容を掲載いたします。

<参考情報>

SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド

SPARX ASIA MIDDLE EAST EQUITY INCOME FUND

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

設 定 形 態	ケイマン籍証券投資法人／オープン・エンド型
基 準 通 貨	日本円
運 用 方 針	アジア中東地域の株式ならびにそれらの株式に関連する証券等を主要な投資対象として、長期的なインカムゲインおよびキャピタル・ゲインの獲得を目指します。
主 な 投 資 制 限	一発行体への投資は純資産総額の10%以内。 流動性の低い株式関連証券等への投資は純資産総額の15%以内。 発行済株式に対する投資比率は50%以内。
決 算 日	12月末日
分 配 方 針	毎年、2月、4月、6月、8月、10月、12月の各末日に、インカム・ゲインならびにキャピタルゲインを原資として分配する方針としています。
管 理 運 用 会 社	SPARX Asia Capital Management Limited
投 資 運 用 会 社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
受 託 会 社	HSBC Trustee (Cayman) Limited
受託会社代理人	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited
保 管 会 社	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited

(注) 記載内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 (2020年5月8日現在)

外国株式等

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(アラブ首長国連邦市場)	百株	千UAEディルハム	千円		
First Abu Dhabi Bank PJSC	710	805	23,316	主要銀行	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	710 1銘柄	805 —	23,316 <1.4%>	
(オーストラリア市場)	百株	千豪ドル	千円		
Aristocrat Leisure Ltd	270	674	46,724	パッケージ・ソフトウェア	
CSL Ltd	46	1,382	95,823	バイオテクノロジー	
Sydney Airport Unit (Stapled)	623	340	23,555	その他輸送	
Transurban Group Unit	881	1,199	83,139	その他輸送	
Treasury Wine Estates Ltd	189	186	12,927	アルコール飲料	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,009 5銘柄	3,780 —	262,167 <15.7%>	
(中国市場)	百株	千人民元	千円		
Kweichow Moutai Co Ltd A Shrs	16	2,103	31,610	アルコール飲料	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	16 1銘柄	2,103 —	31,610 <1.9%>	
(香港市場)	百株	千香港ドル	千円		
AIA Group Ltd	1,266	8,818	121,004	生命・健康保険	
CK Asset Holdings Ltd	630	3,068	42,103	不動産開発	
China Mobile Ltd	235	1,389	19,059	無線通信	
China State Construction International Holdings Ltd (HKSE)	5,263	3,263	44,774	建設・土木	
Citic Telecom International Holdings Ltd	5,730	1,656	22,725	特殊通信	
Guangdong Investment Ltd	3,880	6,123	84,021	コングロマリット	
HSBC Holdings Plc (HKSE)	556	2,199	30,176	主要銀行	
Haier Electronics Group Co Ltd	1,490	3,204	43,961	電化製品	
Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd (HKSE)	173	4,200	57,642	投資銀行・ブローカー	
KWG Group Holdings Ltd	1,300	1,508	20,694	不動産開発	
Sands China Ltd	492	1,530	20,998	カジノ・ギャンブル	
Tencent Holdings Ltd	222	9,284	127,404	インターネット・ソフトウェアサービス	
Travelsky Technology Ltd H Shrs	1,200	1,646	22,593	その他商業サービス	
Vitasoy International Holdings Ltd	240	677	9,288	製菓業	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	22,677 14銘柄	48,564 —	666,444 <40.0%>	
(インドネシア市場)	百株	千インドネシアルピア	千円		
Bank Central Asia Tbk (DMT)	876	2,297,310	16,378	地方銀行	
Bumi Serpong Damai Tbk	21,393	1,422,635	10,142	不動産開発	
Telekomunikasi Indonesia Persero Tbk	11,148	3,556,212	25,352	主要通信	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	33,417 3銘柄	7,276,157 —	51,872 <3.1%>	

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(インド市場)	百株	千インドルピー	千円		
HDFC Bank Ltd (NSI)	151	14,050	19,786	地方銀行	
ITC Ltd (DMT) (NSI)	604	9,577	13,486	タバコ	
小計	株数・金額	755	23,627	33,272	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 2.0% >	
(韓国市場)	百株	千韓国ウォン	千円		
LG Household & Health Care Ltd	4	624,800	54,452	家庭用品・パーソナルケア	
Samsung Electronics Co Ltd	140	683,200	59,542	通信機器	
小計	株数・金額	144	1,308,000	113,994	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 6.8% >	
(マレーシア市場)	百株	千マレーシアリングgit	千円		
Genting Malaysia	3,920	933	22,913	カジノ・ギャンブル	
Inari Amertron	2,315	319	7,846	半導体	
小計	株数・金額	6,235	1,252	30,758	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 1.8% >	
(フィリピン市場)	百株	千フィリピンペソ	千円		
Puregold Price Club Inc	3,534	16,893	35,626	食品小売り	
Universal Robina Corp	925	11,381	24,003	製菓業	
小計	株数・金額	4,459	28,274	59,629	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 3.6% >	
(サウジアラビア市場)	百株	千サウジアラビアリアル	千円		
Saudi British Bank (The)	110	240	6,803	地方銀行	
小計	株数・金額	110	240	6,803	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 0.4% >	
(タイ市場)	百株	千タイバーツ	千円		
Advanced Info Service Pcl NVDR	510	9,869	32,507	無線通信	
小計	株数・金額	510	9,869	32,507	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 2.0% >	
(台湾市場)	百株	千台湾ドル	千円		
Ememory Technology Inc	200	5,810	20,680	半導体	
MediaTek Inc	530	21,810	77,628	半導体	
President Chain Store Corp	560	17,080	60,794	食品小売り	
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	1,210	35,998	128,129	半導体	
小計	株数・金額	2,500	80,697	287,231	
	銘柄数<比率>	4銘柄	—	< 17.2% >	

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(米国 ADR 市場)		百株	千米ドル	千円		
Jardine Matheson Holdings Ltd (SGX)		39	177	18,874	コングロマリット	
小計	株数・金額	39	177	18,874		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 1.1%>		
合計	株数・金額	73,582	—	1,618,479		
	銘柄数<比率>	39銘柄	—	<97.1%>		

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損 益 計 算 書

自 2019年11月9日
至 2020年 5月8日

(単位：千円)

収益		
受取配当金		15,387
受取利息		4
解約差益		0
その他収益		12
	収益計	<u>15,405</u>
費用		
支払利息		0
受託会社報酬		13,622
監査報酬		1,974
源泉税		1,712
管理運営会社報酬		9,501
管理事務報酬		1,655
設立費償却		0
その他費用		1,530
	費用計	<u>29,996</u>
純投資損益		<u>△14,590</u>
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益		
投資有価証券売買損益		△113,425
為替差損益		△279
		<u>△113,704</u>
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減		
有価証券未実現純評価損益増減		△177,360
為替未実現純評価損益増減		△1,201
		<u>△178,561</u>
営業活動による純資産の純増減額		<u>△306,857</u>

(注1) 上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。

(注2) 管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。

スパークス・マネー・マザーファンド

第 12 期

決算日 2019年11月11日

(計算期間：2018年11月13日～2019年11月11日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主な組入制限	①株式(新株予約権証券を含みます。)への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額5%以内とします。
分配方針	決算日毎年11月10日(休業日の場合は翌営業日) 収益分配は行いません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

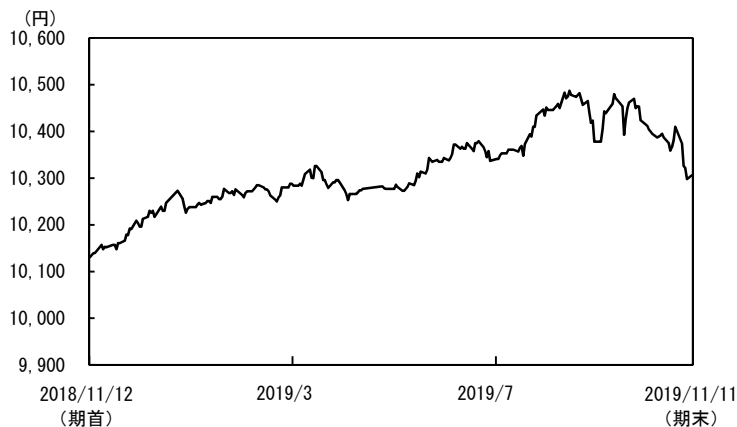
決算期	基準価額		債券 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		
8期(2015年11月10日)	円 10,125	% 0.0	% 73.8	百万円 13
9期(2016年11月10日)	10,143	0.2	99.4	10
10期(2017年11月10日)	10,141	△0.0	99.5	10
11期(2018年11月12日)	10,131	△0.1	99.4	10
12期(2019年11月11日)	10,306	1.7	99.1	10

■ 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2018年11月12日	円 10,131	% —	% 99.4
11月末	10,161	0.3	99.4
12月末	10,247	1.1	99.4
2019年 1月末	10,260	1.3	99.4
2月末	10,272	1.4	99.4
3月末	10,326	1.9	99.4
4月末	10,277	1.4	99.4
5月末	10,314	1.8	99.4
6月末	10,375	2.4	99.4
7月末	10,369	2.3	99.4
8月末	10,478	3.4	99.4
9月末	10,454	3.2	99.4
10月末	10,382	2.5	99.2
(期末) 2019年11月11日	10,306	1.7	99.1

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額の推移



■ 運用経過

当マザーファンドは、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ **期中の売買及び取引の状況**（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

該当事項はありません。

■ **利害関係人との取引状況等**（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定する利害関係人です。

■ **信託財産と委託会社との間の取引の状況**（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ **委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況**（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2019年11月11日現在)

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(9,994千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組 入 比 率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	10,000	10,211	99.1	—	99.1	—	—
合 計	10,000	10,211	99.1	—	99.1	—	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切り捨て。—印は組み入れなし。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第347回長期国債10年	0.1	10,000	10,211	2027/6/20
合 計		—	10,000	10,211	—

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2019年11月11日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2019年11月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	10,211	99.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	89	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	10,300	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年11月11日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	10,300,259 円
コール・ローン等	84,571
公社債（評価額）	10,211,800
未 収 利 息	3,888
(B)負 債	0
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	10,300,259
元 本	9,994,224
次 期 繰 越 損 益 金	306,035
(D)受 益 権 総 口 数	9,994,224 口
1 万口当たり基準価額 (C/D)	10,306 円

■ 損益の状況

当期（自2018年11月13日 至2019年11月11日）

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	9,971 円
受 取 利 息	9,973
支 払 利 息	△ 2
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	164,700
売 買 益	164,700
(C)当 期 損 益 金 (A+B)	174,671
(D)前 期 繰 越 損 益 金	130,596
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	768
(F)合 計 (C+D+E)	306,035
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	306,035

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額 9,974,992 円
 期中追加設定元本額 19,232 円
 期中一部解約元本額 - 円
2. 期末元本の内訳
 スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) 9,964,333 円
 スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) 10,659 円
 スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジあり 9,616 円
 スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジなし 9,616 円

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

■ お知らせ

2019年2月9日付で下記の通り投資信託約款の変更をいたしました。

- ・当ファンドの電子公告のアドレスにつき、弊社ホームページの URL 変更 (<https://www.sparx.co.jp/>) に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。